

〈学術論文:研究資料〉

## 休暇村の立地過程と野外レクリエーション空間構造及び利用形態の特徴

加 治 隆\*

### A Study on the Characteristics of Development Processes and Spatial Structures of the National Park Resort Villages, Japan

Takashi KAJI\*

#### ■摘要

自然公園の中で健全な保健休養を促進するために設置された休暇村の立地過程、空間構造と利用特性を明らかにするため、36ヶ所の全休暇村を対象に分析を行なった。その結果、①休暇村の土地は、当初国有地を予定したが確保できず、ほとんどの土地は地方公共団体等から提供されたため、未開発地で隔絶性高い地域に立地した。②休暇村は、宿舎、園地を中心にスキー場、キャンプ場などの組み合わせによる4タイプに分けられる。③開設以来、宿舎やフィールドを活用した独自の自然とのふれあい活動を行なっている。④休暇村利用者にアンケートを行ない、休暇村の環境、景観に関する評価を明らかにした。

#### Abstract

There are 36 National Park Resort Villages (NPRVs) in Japan. NPRVs are public resorts located in excellent nature spots in Natinal parks and Quasi National Parks, in which people can fully enjoy outdoor recreation on their holidays. An area of each NPRV is about 10 to 150 hectares and main facilities of NPRVs are lodges, picnic grounds, skiing grounds, camping grounds and interpretive trails, etc.

The object of this study is to show the characteristics of NPRV's development processes and their spatial structures. The results of this study are as follows.

(1) NPRVs are located exclusively close to excellent natural resources and are isolated from other developed recreational areas.

(2) NPRVs are classified into four basic types according to their basic composition of main facilities.

(3) Each NPRV is executing various interpretive programs since it was established.

Key words: 休暇村・集団施設地区・自然休養・自然探勝・自然学習・自然とのふれあい

---

\*前 (財)休暇村協会 National Park Resort Villages of Japan  
(受理日:2003年9月16日)

## 1. 研究の背景と目的

休暇村は、国立公園や国定公園の健全な利用促進を図る目的で、昭和36（1961）年から、当時の自然公園行政を担当していた厚生省（現在は環境省）の整備方針に基づいて造成が始まり、以来40年以上が経過し、これまで36カ所が開設されている。休暇村（当初は「国民休暇村」と称し、平成13（2001）年1月に「休暇村」と改称）は、十から百数十ヘクタールの土地に、宿泊施設を中心に各種の野外レクリエーション施設を集団的に整備した。国民が家族ずれで気軽に利用できる近代的な保健休養地である。休暇村の建設及び運営は、財団法人国民休暇村協会（現在は休暇村協会）が行ってきた。開設以来、休暇村利用者は着実に増加し、平成13年度には全休暇村の入り込み利用者数は、約444万7千人、宿泊者数は約159万6千人であった。

昭和30年代後半からの日本は、都市の発達に伴って都市人口が増加し、国民の日常生活圏における自然の減少が進行していった。また、昭和40年代、50年代と時代の推移とともに、国民の余暇の過ごし方が変化し、休暇村の利用動向も初期は低廉で快適な宿泊利用と有名な観光地への中継宿泊地としての利用から、次第に滞在日数も長い、自然の中を散策したり、自然観察を楽しむ場として利用されるようになった。

休暇村は、宿泊施設や園地<sup>註1)</sup>などの休養施設を中心に、各休暇村の立地環境や自然資源によってスキー場、キャンプ場、水泳場<sup>註2)</sup>などの施設で構成される、まとまりのある野外レクリエーション地である。自然とのふれあい活動<sup>註3)</sup>は、主にこれら施設群を基盤に行なわれるが、休暇村をとりまくすぐれた環境や景観などの空間要素が、自然とのふれあい活動を推進するうえで重要な役割を果たしている。休暇村は立地環境を重視して施設整備は適地適施設に徹しており、休暇村の適切な運営管理は全国的な自然とのふれあい活動を推進する上で大きな意義がある。

休暇村における自然とのふれあいの場と活動の実態を、全国的に明確にした研究は行なわれていない。そのため、現在の活動実績を把握、整理し、問題点があればそれを明らかにし、同時に将来を考慮することは重要なことと考える。

そこで本研究は、まず休暇村の立地の目的や立地構造を解析し、その空間中で行なわれている野外レクリエーション及び自然とのふれあい活動の実態と特徴

を明らかにすること、また、休暇村の整備方向やふれあい活動のあり方を考察することを目的とする。

## 2. 研究対象と研究方法

研究対象は、全国36カ所の休暇村全てである。図-1に研究対象の所在地を示した。研究方法は、次の研究対象区分にしたがって行なった。

### (1) 全休暇村

環境省、関係道県、財団法人休暇村協会等の文献調査と関係市町村の聞き取り調査を行ない、休暇村の誘致活動、開設の過程を整理する。一方、36の休暇村所在地ごとに現地調査を行ない、地形、景観特色、利用状況の資料収集と分類整理する。

### (2) 個別休暇村（休暇村大山鏡ヶ成）

昭和37（1962）年、最初に開設された3休暇村のうち、大山隠岐国立公園大山地区に立地する「休暇村<sup>だいせんかがみがなる</sup>大山鏡ヶ成」を選び、地形、植生、景観などの自然環境に関する実態調査を実施するとともに、休暇村利用者の環境や景観の評価についてアンケートを行なう。アンケートは平成14（2002）年10月に休暇村大山鏡ヶ成に宿泊する利用者200人にアンケート用紙を手渡し、回答を得た。アンケートの調査内容は以下の5設問とした。

- ① 休暇村の環境や景観に関する認識と評価
- ② 休暇村内の野鳥や昆虫などのとの出会い、頻度
- ③ 印象に残った草花、樹木（自由記述）
- ④ 休暇村の身近な景観の認識・評価
- ⑤ 休暇村周辺の景観ポイントの認識・評価

## 3. 休暇村の全体構造

### (1) 立地の展開過程

昭和35（1960）年5月、当時自然公園行政を担当していた厚生省は、昭和36年予算要求のアピールとして「国民休暇村計画」を発表した<sup>1)</sup>。発表された内容は、全国に22カ所の「国民休暇村」を5カ年で整備しようとするものである。計画予定地は、「支笏洞爺、磐梯朝日、日光、上信越高原、中部山岳（黒部・乗鞍）、富士五湖方面2カ所、西伊豆、吉野熊野、大山、瀬戸内海（大久野島）、阿蘇、霧島の国立公園のうち14カ所、他に国定公園は8カ所（未定）」である。建設と運営は新たに設立する「国立公園事業団」が行なうというものであった。

図-1 休暇村の所在地



|    |                    |    |                   |    |                  |
|----|--------------------|----|-------------------|----|------------------|
| 1  | 支笏湖 (支笏湖国定公園)      | 13 | 佐渡 (佐渡勢彦米山国定公園)   | 25 | 南紀勝浦 (吉野県国定公園)   |
| 2  | 岩手磐梯温泉 (十和田八幡国定公園) | 14 | 乗鞍高原 (中部山岳国定公園)   | 26 | 大山崎少成 (大山崎国定公園)  |
| 3  | 熊中宮古 (熊中海岸国定公園)    | 15 | 南伊豆 (富士箱根伊豆国定公園)  | 27 | 霧山高原 (大山崎国定公園)   |
| 4  | 田代湖高原 (十和田八幡国定公園)  | 16 | 富士 (富士箱根伊豆国定公園)   | 28 | 大久野島 (瀬戸内海国定公園)  |
| 5  | 気山沼大島 (熊中海岸国定公園)   | 17 | 伊良湖 (三河国定公園)      | 29 | 吾妻山 (比叡道後帝釈国定公園) |
| 6  | 羽黒 (磐梯朝日国定公園)      | 18 | 茶臼山高原 (天竜奥三河国定公園) | 30 | 帝釈峽 (比叡道後帝釈国定公園) |
| 7  | 磐梯高原 (磐梯朝日国定公園)    | 19 | 能登千里浜 (能登半島国定公園)  | 31 | 瀧城五色台 (瀬戸内海国定公園) |
| 8  | 那須 (日光国定公園)        | 20 | 越前三国 (越前加賀海岸国定公園) | 32 | 瀬戸内真子 (瀬戸内海国定公園) |
| 9  | 日光湯元 (日光国定公園)      | 21 | 近江八幡 (琵琶湖国定公園)    | 33 | 志賀島 (笠置国定公園)     |
| 10 | 鹿伏高原 (上信越高原国定公園)   | 22 | 南波路 (瀬戸内海国定公園)    | 34 | 雲仙 (雲仙天草国定公園)    |
| 11 | 龍山 (南房総国定公園)       | 23 | 竹野海岸 (山陰海岸国定公園)   | 35 | 南阿蘇 (阿蘇くじゅう国定公園) |
| 12 | 妙高 (上信越高原国定公園)     | 24 | 紀州加太 (瀬戸内海国定公園)   | 36 | 指宿 (霧島屋久国定公園)    |

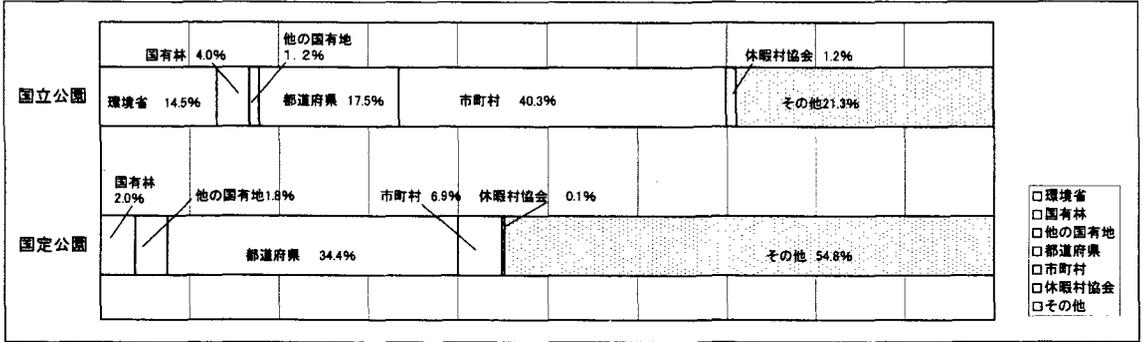
平成15(2003)年9月1日現在

表-1 休暇村(総合)1カ所の計画

|                     |           |  |            |
|---------------------|-----------|--|------------|
| (1)規模               | イ 面積      | 50ha~200ha                               |            |
|                     | ロ 事業費     | 3~4億円                                    |            |
| (2)施設の種類の等          | ハ 宿泊収容力   | 1日 800~2,000人                            |            |
|                     | ニ 年間延利用者数 | 35万人                                     |            |
|                     | 種 類       | 収 容 人 員                                  | 料 金        |
|                     | 国民宿舎      | 300人収容のもの2~3棟                            | 1泊2食付 500円 |
|                     | ケビン       | 8人収容のもの40~50棟                            | 1泊 150円    |
|                     | 野営場       | 100人~500人                                |            |
|                     | スキー場      |  |            |
|                     | ロープウェイ    |  |            |
|                     | スキーリフト    |  |            |
| (3)設置場所の<br>具備すべき条件 | イ         | 付近一帯の自然景観がすぐれており、かつ地況が多衆を収容する施設に適していること。 |            |
|                     | ロ         | 土地が厚生省の所管地であるか、または、所管換えが予定されているところであること。 |            |
|                     | ハ         | 交通が便利で、大都市または地方基幹都市よりの利用が多数見込まれること。      |            |
|                     | ニ         | 登山、キャンピング、温泉浴、スキー、舟遊等が可能であること。           |            |
|                     | ホ         | 施設の計画的整備が可能であること。                        |            |

出典：厚生省「国民休暇村—その計画の概要—」：昭和35(1960)年9月

図-2 休暇村区域の土地所有区分



（休暇村協会資料より作成）

計画が発表されると、全国各地から休暇村設置の誘致運動が活発に行われた。厚生省は、表-1に示す計画基準を定め、特に、建設用地は、理想的な自然公園の利用拠点（集団施設地区）を整備するため、自然環境にすぐれ、大都市からも近い、まとまりのある土地を求めた。原則として土地は厚生省所管地又は所管換えが可能な国有地の確保を条件とした。しかし、現実には国有地の確保は困難で、図-2に示すように、国立公園内休暇村区域の国有地の割合は19.7%、都道府県、市町村の土地が57.8%を占め、国定公園にあっては国有地の割合は3.8%にすぎず、都道府県、市町村の土地が41.3%に及んでいる。このように地方公共団体所有地の割合が多い理由は、休暇村の立地を地域の重要な観光振興策と捉え、積極的な土地提供を行なったためと考えられる。したがって、土地所有区分図を見るかぎり、土地を選ぶというよりは地元が提供する土地に立地をせざるを得なかったのである。その結果、休暇村は既存の宿泊施設群から独立し隔絶した未開の

地に立地することになった。<sup>2)</sup>

昭和37(1962)年4月、厚生省は「裏磐梯、鹿沢、館山、鈴蘭、近江八幡、南淡、加太、鏡ヶ成、蒜山、大久野島」の10ヶ所を第1次「国民休暇村」として指定した。当初計画された「国立公園事業団」の設立が予算要求の段階で認められなかったため、昭和36(1961)年12月に財団法人国民休暇村協会が設立され、この協会が有料施設（宿泊施設等）を、厚生省、関係道県が道路・駐車場等の公共施設を整備することになった。

昭和37(1962)年7月、休暇村第1号として琵琶湖国定公園内の「近江八幡国民休暇村」が開設され、続いて大山鏡ヶ成、鹿沢高原と開設が続き、昭和46(1965)年までの4年間に毎年3~5ヶ所の休暇村が建設された。その後毎年1ヶ所づつ開設され、昭和44(1969)年までに当初計画した設置数に近い20ヶ所の休暇村整備が完了した。(表-2)

しかし、休暇村の経営は、遠隔地にあってアクセス

表-2 休暇村の開設経緯

| 年度          | 国立公園                          | 国定公園      | 開設数 |
|-------------|-------------------------------|-----------|-----|
| 第1期 1962    | 大山鏡ヶ成・鹿沢高原                    | 近江八幡      | 20  |
| 1963        | 南淡路・紀州加太・大久野島                 |           |     |
| 1964        | 蒜山高原・乗鞍高原                     | 館山・志賀島    |     |
| 1965        | 磐梯高原                          |           |     |
|             | 指宿・妙高・岩手網張温泉                  |           |     |
| 1966~69     | 田沢湖高原・瀬戸内東予<br>南紀勝浦・讃岐五色台・南伊豆 | 伊良湖       |     |
| 第2期 1971    | 那須                            | 能登千里浜     | 12  |
| 1974        | 陸中宮古・雲仙                       | 帝釈峡       |     |
| 1975        | 羽黒                            |           |     |
| 1976~79     | 南阿蘇・支笏湖・気仙沼大島<br>竹野海岸         |           |     |
| 1980        |                               | 吾妻山・茶臼山高原 | 4   |
| 第3期 1994~96 | 日光湯元・越前三国                     | 佐渡        |     |
| 2000        | 富士                            |           |     |
|             | 26                            | 10        | 36  |

も不十分な立地環境が影響して予想外の厳しいものとなった。昭和40(1965)年までに、すでに16カ所の休暇村で宿泊施設等の有料施設が経営されていたが、道路改良等公共施設の整備の遅れ、利用の低迷などによって所期の経営目標に達せず、目標達成までの対策として、利用人口の多い大都市に近接した地域に、国民休暇村協会独自で宿泊施設のみを数カ所整備し、経営の改善を図る努力が行なわれた。休暇村南紀勝浦は、こうした構想によって開設された休暇村で、自然公園の計画上「集団施設地区」ではなく「単独施設地区(宿舎)」として整備された。

第2期の整備は、自然公園行政が厚生省から環境庁(現在環境省)に移り、国民休暇村の所管も環境庁になり、1970年代の自然環境の保全を図りながら適正利用を推進するという時代背景のもとに全国的な立地が展開されていった。昭和52(1977)年に休暇村支笏湖が開設され、沖縄を除く全国各地に休暇村が開設された。

第1期及び第2期に開設された休暇村の分布状況は、北海道(1カ所)、東北(6カ所)、関東(2カ所)、中部・北陸(7カ所)、近畿(5カ所)、中国・四国(7カ所)、九州(4カ所)の合計32カ所となり、ほぼ、日本列島の様々な自然にふれあうことのできる休暇村ネットワークが形成された。

この全国的な休暇村整備後の昭和56(1981)年以降を、第3期整備期と区分することができる。第3期に入ると、環境庁の自然公園事業費の伸び悩みや、休暇村経営状況が厳しいために立地の計画目標を設定することは困難で、具体的な立地に当たっては個別に整備効果を検討し、整備効果が良いと判断したところから整備を進めた。平成6(1994)年から平成12(2000)年までに4カ所の休暇村が開設された。平成12(2000)年7月、休暇村富士の開設以来、新規開設の計画は発表されていない。

## (2) 休暇村の自然利用形態

休暇村における野外レクリエーションや自然とのふれあい活動について、自然との関わり方や形態を明らかにするために、活動種目別に自然との接触度やその影響の度合を分析した。

図-3に示されるように休暇村における活動種目はおよそ52種目<sup>※4)</sup>である。自然との接触度が大きく、自然への影響が少ない領域に含まれるものは52種目う

ち25種目で全体の約半数を占めている。休暇村における活動は自然が豊かな環境の中で自然との接触度が高く、しかも自然への影響が少ないことがわかる。テニス、夏山リフト登山ツーリングなど、自然接触度が小さく、自然への影響が大きい活動もあるが、これらは大都市近郊の休暇村でみられる。

## (3) 休暇村の中心施設による休暇村分類

休暇村には、宿舎、園地などの休養施設のほか、スキー場、キャンプ場、水泳場など野外レクリエーション施設が、各休暇村の立地環境に応じて整備されている。

各休暇村の基盤施設として共通して設けられる施設は、「宿舎」と「園地」である。この中心施設にスキー場、キャンプ場、水泳場などが加えられて休暇村を構成する。休暇村の中心施設に付属する野外レクリエーション施設との組み合わせに基づいて区分すると、図-4に示すとおり4種類のタイプに分類することができる。

### タイプA(宿舎・園地・スキー場・キャンプ場)

スキー場を中心にキャンプ場をもつ休暇村は13カ所あり、全体の約4割を占める。春夏秋冬を通じて利用のできる総合的な休暇村である。スキー場は家族利用のためのロープトウや本格的スキーヤーのためのゲレンデスキー場、長距離リフトが整備されている。岩手網張温泉、田沢湖高原、乗鞍高原、大山鏡ヶ成、蒜山高原などがこのタイプである。

### タイプB(宿舎・園地・キャンプ場)

キャンプ場は宿舎、園地に次ぐ基盤的な施設で31カ所の休暇村にある。このうち宿舎、園地に単独にキャンプ場のみが付帯する休暇村は9ヶ所で、山地や山麓部に立地する休暇村に整備されている。

休暇村のキャンプ場は、公共施設として環境省や関係道県によって整備され、管理運営を財団法人休暇村協会が行なっている。当初のキャンプ場は林間のサイトにテントを張るものであったが、平成に入ってオートキャンプが盛になると、休暇村のキャンプ場も新たな対応が求められ、オートキャンプ場の整備が進みつつある。平成5年度から環境庁の環境に配慮したエコロジーキャンプが導入され、家族が自然とふれあいながら快適なキャンプが行なわれている。南淡路、富士、帝釈峡などがこのタイプにはいる。

### タイプC(宿舎・園地・キャンプ場・水泳場)

図-3 休暇村の自然利用形態の分析と活動種目

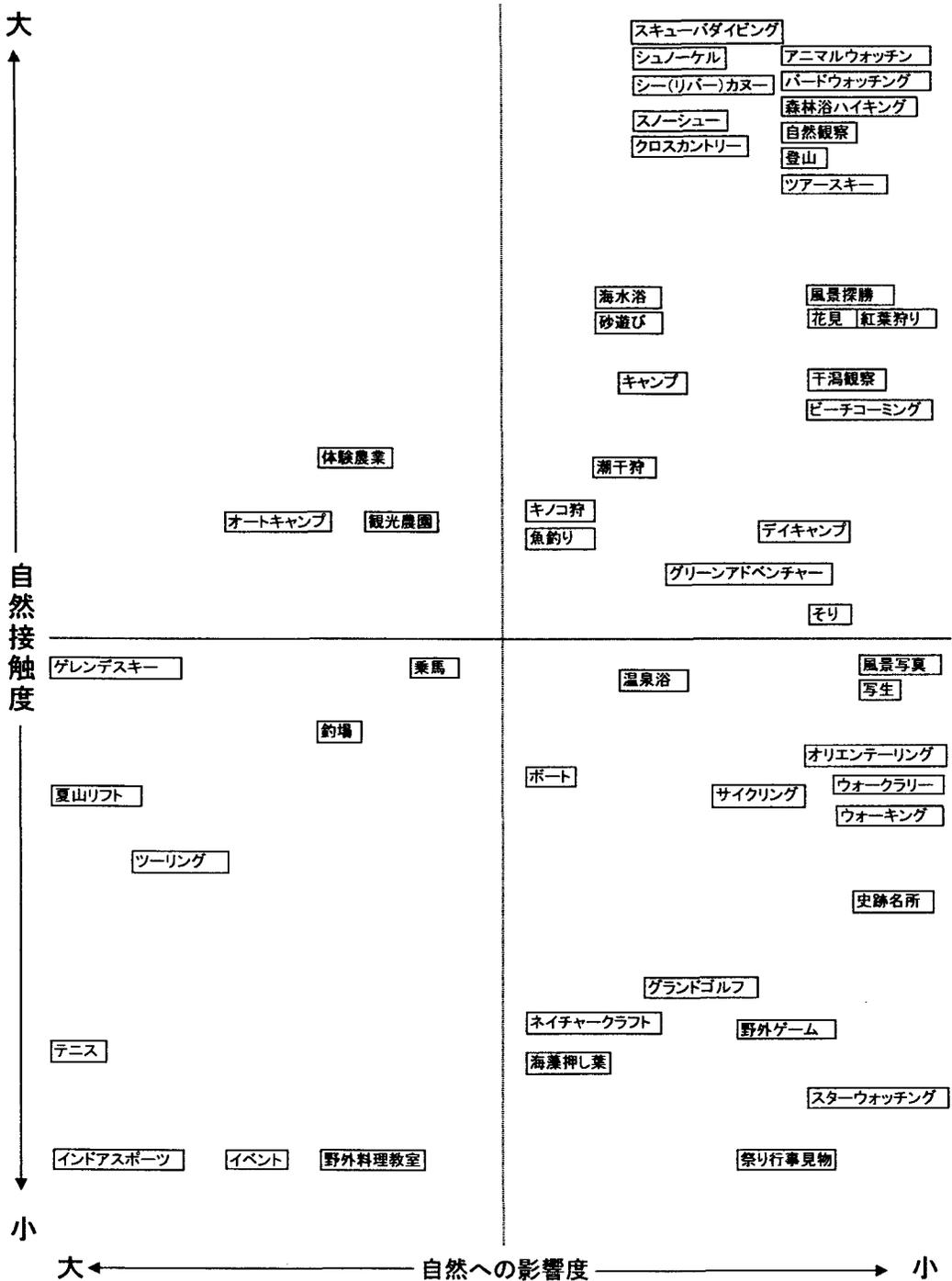


図-4 休暇村の空間構造

| 施設形態   |          |               | 自然環境形態  |   |   |   |   | 立地標高<br>( <small>宿舎位置</small><br>(m)) | 休暇村設置数  |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|--------|----------|---------------|---|---|---|---|---|---------------------------------------|---------|----------|----------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|----------|---------|--------|--------|---------|--------|----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|----------|---------|--------|--------|
|        |          |               | 山頂  | 斜面  | 谷底  | 平原  | 海(湖)辺   |                                       |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| タイプ    | 基盤施設     | レクリエーション施設    |  |  |  |  |  |                                       |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| A      | 宿舎<br>園地 | スキー場<br>キャンプ場 |   | [14]  | [09]  |   |   | 1,600                                 | 13      |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               | [18]  | [10]  |   |   |   | 1,300                                 |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   | [08][29]  | [26]  |   |   | 1,000                                 |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   | [02][04]  |   | [07]  |   | 700                                   |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   | [12]  | [06]  | [27]  |   | 400                                   |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   | 100   |   |                                       |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| B      | 宿舎<br>園地 | キャンプ場         |   | [16][35]  |   |   |   | 700                                   | 9       |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               | [31]  |   |   | [30]  |   | 400                                   |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   | [01]  |   | [34]  |   | 100                                   |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               | [13][22]  |   |   |   |   | 50                                    |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   |   | 10                                    |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   | [17]  | 5   |                                       |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| C      | 宿舎<br>園地 | キャンプ場<br>水泳場  |   |   |   |   |   | 400                                   | 9       |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               | [23][24]  |   |   |   | [03][21]  | 100                                   |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               | [32]  |   |   |   |   | 50                                    |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   | [19][20]  | 10                                    |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   | [28][36]  | 5                                     |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   | 0   |   |                                       |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| D      | 宿舎<br>園地 | 水泳場           |   |   |   |   |   | 100                                   | 5       |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   | [25]  | 50                                    |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   | [05][33]  | 10                                    |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   | [11][15]  | 5                                     |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
|        |          |               |   |   |   |   |   | 0                                     |         |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| 休暇村設置数 |          |               | 7   | 10  | 3   | 4   | 12  |                                       | 36      |          |          |         |         |        |         |         |        |          |         |        |        |         |        |          |        |        |         |        |        |        |        |          |         |        |        |
| 01 支笏湖 | 07 磐梯高原  | 13 佐 渡        | 19 能登千里浜  | 25 南紀勝浦   | 31 讃岐五色台  | 02 岩手綱張温泉   | 08 那 須  | 14 乗鞍高原                               | 20 越前三国 | 26 大山鏡ヶ成 | 32 瀬戸内東予 | 03 陸中宮古 | 09 日光湯元 | 15 南伊豆 | 21 近江八幡 | 27 蘇山高原 | 33 志賀島 | 04 田沢湖高原 | 10 鹿沢高原 | 16 富 士 | 22 南淡路 | 28 大久野山 | 34 雲 仙 | 05 気仙沼大島 | 11 館 山 | 17 伊良湖 | 23 竹野海岸 | 29 吾妻山 | 35 南阿蘇 | 06 羽 黒 | 12 妙 高 | 18 茶臼山高原 | 24 紀州加太 | 30 帝釈峽 | 36 指 宿 |

水泳場もスキー場と同様に高い属地性が求められ、砂浜、水質、水深など水泳に適する水泳場が選定されている。水泳場とキャンプ場を併せもつ休暇村は9カ所である。紀州加太、能登千里浜、大久野島などがこのタイプに入る。

#### タイプD（宿舎・園地・水泳場）

水泳場が単独で付帯する休暇村は5カ所である。これらの休暇村はおおむね大都市近郊にある。休暇村の利用は夏季に集中するが、水泳場は年間を通して自然休養の場として重要な役割を果たしている。館山、南伊豆、志賀島などがこのタイプに入る。

#### 4. 休暇村大山鏡ヶ成の景観構造と利用

大山隠岐国立公園大山地区にある休暇村大山鏡ヶ成は、休暇村近江八幡に次いで二番目の休暇村として昭和37（1962）年11月に開設した。

休暇村大山鏡ヶ成は、大山（標高1,792m）の南東約5kmの鏡ヶ成に立地している。鏡ヶ成地区は休暇村が整備される以前は未開発の森林原野で、全域が江府町町有地であることから、江府町と鳥取県は早くから鏡ヶ成を南大山の観光地とするため、積極的に休暇村の誘致を厚生省に働きかけた。

鏡ヶ成地区は、昭和31（1956）年6月に大山隠岐国立公園の公園計画に基づいて集団施設地区に指定された。その後、昭和37年に第1次「国民休暇村」に指定されると、集団施設地区を「休暇村」として整備するため、休暇村大山鏡ヶ成詳細計画（図-5）が立案され、順次、施設の整備が進められた。

休暇村大山鏡ヶ成は、宿舎、園地、スキー場、キャンプ場をもち、通年、野外レクリエーション活動が可能な総合的な休暇村である。

図-5 休暇村大山鏡ヶ成詳細計画図  
[大山隠岐国立公園・鏡ヶ成集団施設地区]

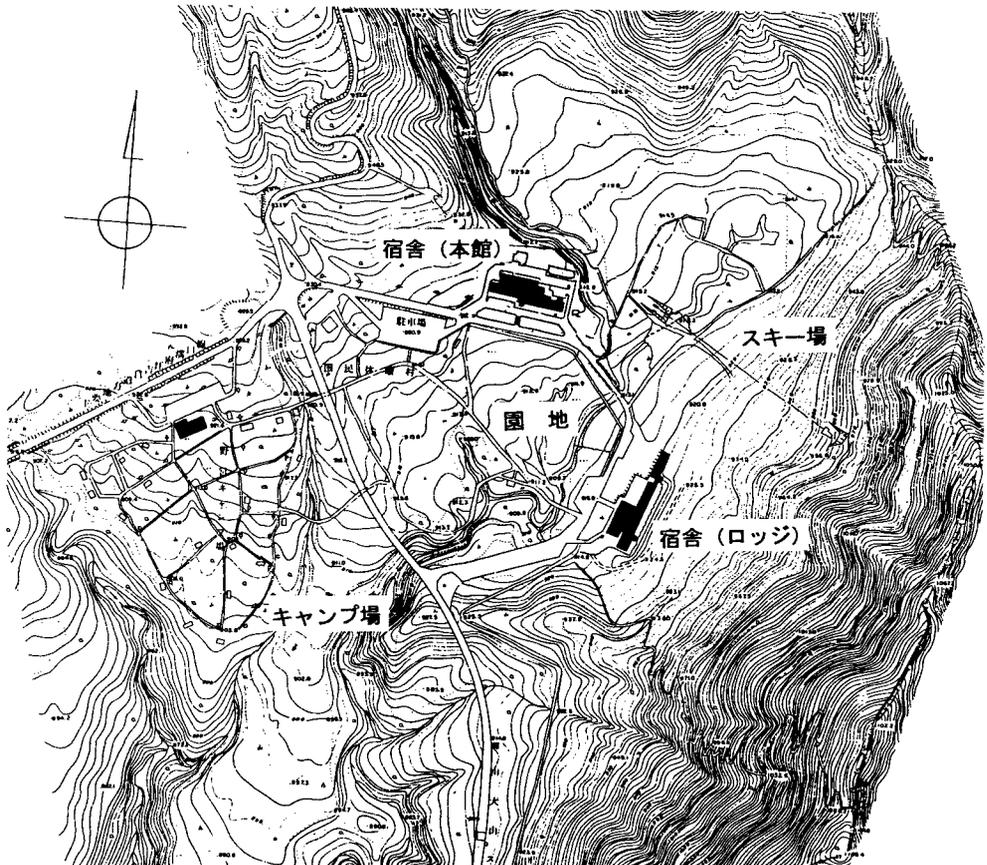
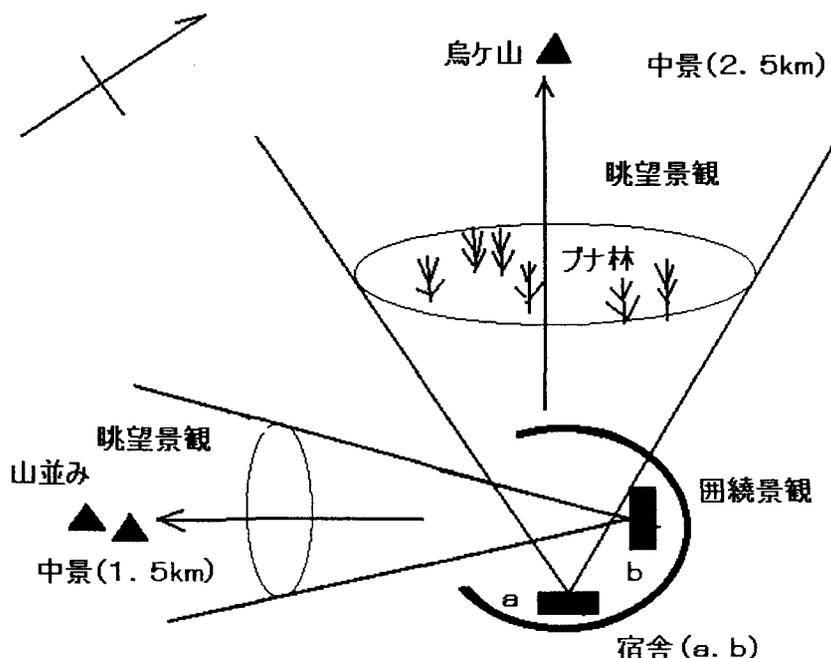


図-6 大山鏡ヶ成の景観構成概念図



### (1) 景観構成

休暇村大山鏡ヶ成の景観分析を行なった。

#### 1) 眺望景観

休暇村の主要な眺望方向は、図-6に示すとおり北西と南西の2方向である。利用者が最も集中する宿舎を「視点場」として、この地点から眺望できる対象は次ぎのとおりである。

視点場・宿舎(a)からの眺望は、北西方向に、芝生の広場、ササ草原、ブナ林、スギの木立、切り立った岩壁をもつ烏ヶ山が眺望することができる。烏ヶ山は標高1,448m、視点場からの距離は2,350m、宿舎の位置との比高は450m、垂直視角は18度である。山頂部は鋭角で緊張感のある山岳景観をみせる。この烏ヶ山を中心とする水平視角の広がり60度で、豊かな開放感のある景観が広がっている。<sup>※註5)</sup>

次ぎに、視点場・宿舎(b)からは、南西方向に緩やかな山並みが眺望できる。山並み山頂部までの視点場からの距離は1.5km、垂直視角は5度、水平視角は50度である。宿舎からの眺望は中景<sup>※註6)</sup>で、やや開放感はないが、身近で親しみやすい景観となっている。

#### 2) 圍繞景観

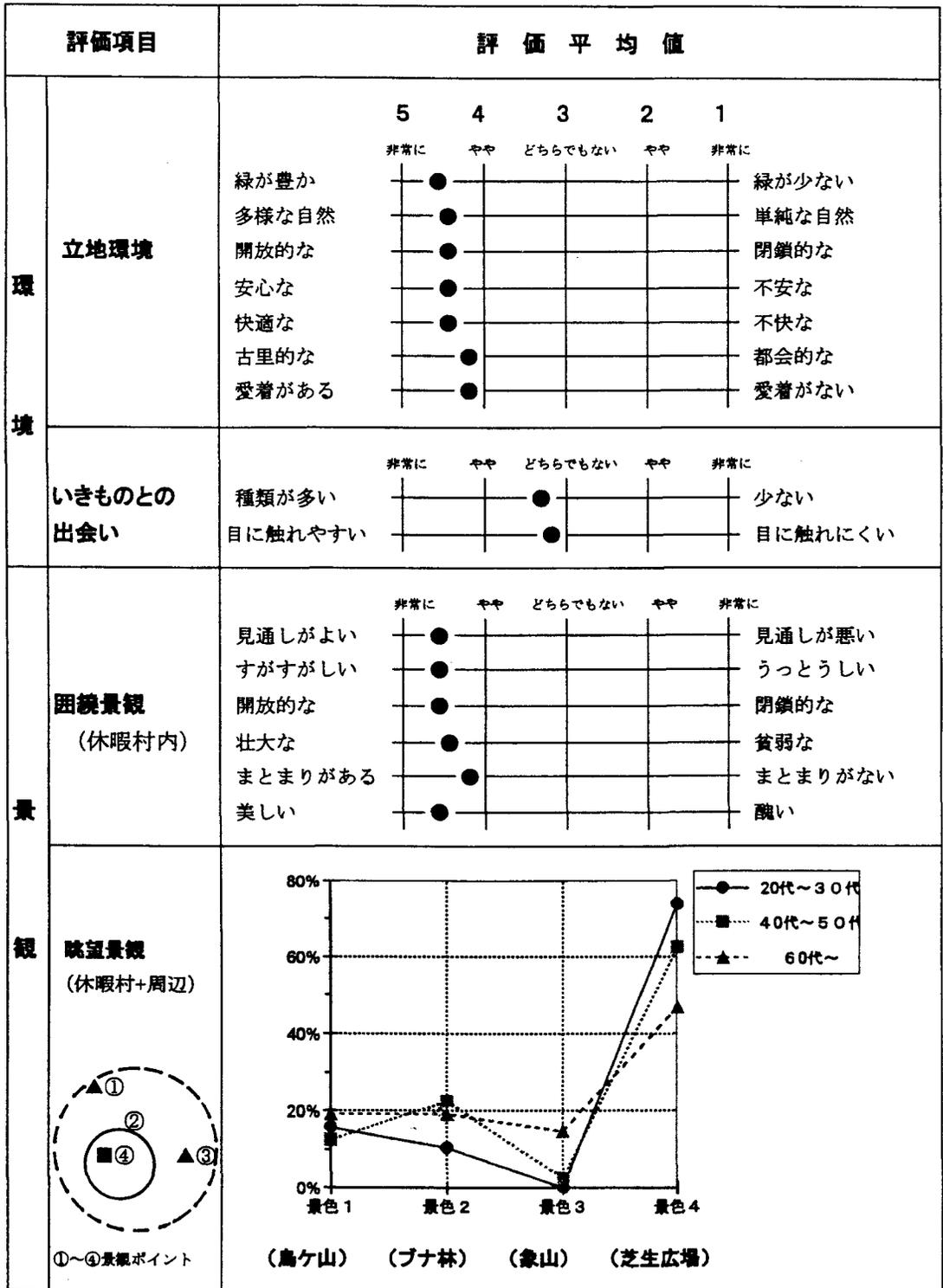
「鏡ヶ成」の名は、烏ヶ山、象山、擬宝珠山に囲まれた平らな地形に由来している。宿舎中心とする北西2,350mに烏ヶ山、北750mに象山(1,085m)、南東500mには擬宝珠山(1,109m)が連なり、これらを結ぶ山稜が芝生地、ササ原、湿地の平坦地、山麓緩斜面のブナ林を囲んでいる。しかし、南西部の山並は低い位置にあり見通しがよいため、全体として囲まれているものの開放感のある圍繞景観<sup>※註7)</sup>を形成している。

#### (2) 利用者による景観評価

休暇村利用者を対象に外部空間に関するアンケート調査を実施した。アンケート項目については既往研究<sup>3)</sup>を参考に設定した。

設定項目は、① 休暇村の全体印象(7項目5段階評価)、② 休暇村の生きものとの出会い(2項目5段階評価・1項目は自由記述)、③ 休暇村内の景観認識(5段階評価)、④ 休暇村及び周辺の景観ポイントの選定(4ヶ所の景観評価)である。アンケート用紙は、宿舎利用者のチェックイン時にフロントで手渡し、チェックアウト時に回収した。アンケートの実施時期は平成

図-7 休暇村大山鏡ヶ成の環境等に関する質問項目の平均値



14 (2002) 年10月で、配布数200通、回収数は190通で回収率95%である。結果を図-7に示した。図-7から得られる休暇村外部空間の評価は以下のとおりである。

① 立地環境に関する項目の平均評価値はほとんどの項目で4を越え、利用者は休暇村の環境を、緑が多く安全で快適性に富むと感じている。土地に対する愛着や古里性の評価が他の項目に比較して低いのは、宿舍周辺はほとんど自然林であり、人工林や農地など日常生活で見慣れているものがないためであろう。

② 休暇村内で目に触れ、鳴き声を聴く生きものとの出会いや印象は、やや低い評価となっている。アンケートの実施時が10月で高地の鏡ヶ成では野鳥や昆虫の行動が鈍くなっていること、回答者の多くが宿舍に近い芝生地やササ原をなど比較的生物相の少ない場所を散策しているためである。自由記述では、マツムシソウ、リンドウ、センブリなどの草花、ススキ、チマキザサ、落葉樹のブナ、クヌギなどが挙げられており、この地域の自然植生の特徴を的確に把握していることがうかがえる。

③ 圍繞景観では、地形的には囲まれた環境にありながら、見通し、開放性、すがすがしさの項目では4.5以上と高い評価となっている。鏡ヶ成は盆地状の地

形ではあるが、休暇村の南西部が開けていること、中央部の芝生広場が広大であることによるものと判断できる。

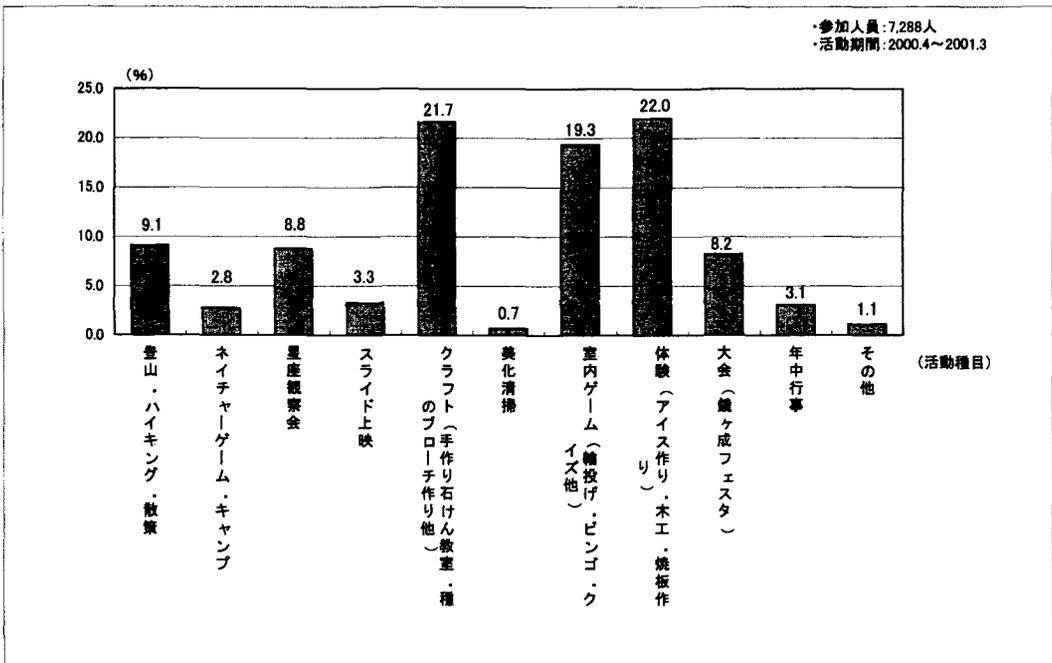
④ 眺望景観の評価については、あらかじめ景観ポイント4カ所をアンケート用紙にある地図に記入し、その中から最も印象に残る1カ所を選ぶ方法で行った。その結果、回答者の約60%が中央部の芝生広場を選び、特に、20代～30代の利用者は74%と高い数値を示している。ブナ林、烏ヶ山を選んだ利用者は、芝生広場を選んだ人の3分の1程度であり、象山の場合はさらに低い数値となっている。利用者にとって、身近にある景観ポイントほど印象度が高いことを示している。

(3) 自然とのふれあい活動と利用状況

休暇村大山鏡ヶ成の自然とのふれあい活動状況は図-8に示すとおりで、登山、ハイキング・散策、星座観察会や屋内におけるハンドクラフト、ゲームなどが行なわれている。平成12(2000)年度に、これらの活動に参加した人は7,288人(図-8)で、同休暇村の入り込み利用者数117,730人の6.2%である。

① 野外の自然探勝や観察は、セルフガイドシステムによって行なわれている。利用者は、フロントに置かれている「自然の小径」という冊子を持って自然の小径と命名された園路を散策する。距離は約1kmで、

図-8 大山鏡ヶ成：自然とのふれあい活動種目別参加者内訳



150mおきにある解説板の説明で自然を理解し、約30分で一周することができる。自然の小径は早朝の自然観察会、夜の星座観察会にも利用される。自然の小径の特徴は、平坦な土地を選び整備されているため歩きやすく安全で、安心して自然とのふれあい活動ができる。

② ハンドクラフトなど「ものづくり」体験活動は、主に屋内で行なわれ、全体の約44%を占めている。参加者は学校団体の児童生徒が多く、高地のきびしい気象条件もあって宿舎の集会室などを利用して行なわれている。ゲームの企画や指導は休暇村のスタッフがあ

たり、スタッフの中にはインストラクターの有資格者が数名いてスタッフをサポートしている。

③ 休暇村大山鏡ヶ成では、開設以来、観察会の案内・解説、室内のゲームやハンドクラフトなどの体験指導を休暇村業務の一環として職員が行ってきた。そのためスタッフは指導者研修に参加するなど自己能力の向上を図りつつ行ってきたが、日常業務の中での活動では十分な時間も取れず、人的な不足もあってふれあい活動は十分に行われているとはいいがたい。<sup>4)</sup> また、活動内容もゲーム、観察、体験といった自然休養、自然探勝型の活動が中心で、最近、利用者ニーズ

表-3 休暇村ウォーキングコース

|        | ふれあいのみち |       | 自然の小径  |       |      |          | 備考                  |
|--------|---------|-------|--------|-------|------|----------|---------------------|
|        | 長(km)   | 短(km) | 距離(km) | 時間(分) | 解説板等 | 積雪期      |                     |
| 支笏湖    | 12      | 2     | 4      | 90    | 7    | 12月初～4月中 |                     |
| 岩手網張温泉 | 14.7    | 12.9  | 1.8    | 60    | 8    | 12月中～4月上 |                     |
| 陸中宮古   | 15      | 10    | 2      | 60    | 15   |          |                     |
| 田沢湖高原  | 15      | 10    | 2      | 60    | 12   | 12月中～4月中 |                     |
| 気仙沼大島  | 15      | 10    | 2      | 60    | 8    |          |                     |
| 羽黒     | 14      | 10    | 1.5    | 40    | 9    | 12月～3月   |                     |
| 磐梯高原   | 10      | 8     | 3      | 60    | 9    | 12月中～4月下 |                     |
| 那須     | 15      | 10    | 1      | 30    | 10   | 11月中～4月下 |                     |
| 日光湯元   | 15      | —     | 3      | 60    | 8    | 12月上～4月末 |                     |
| 鹿沢高原   | 19      | 13    | 2      | 40    | 6    | 11月中～5月中 | 自然の小径<br>かえでの小径     |
|        |         |       | 2      | 40    | 10   |          |                     |
| 館山     | 17      | 11    | 2.3    | 60    | 6    |          |                     |
| 妙高     | 15      | 10    | 2      | 90    | 7    | 12月中～5月下 |                     |
| 佐渡     | —       | —     | —      | —     | —    |          |                     |
| 乗鞍高原   | 10      | 7     | 5      | 90    | 8    | 11月中～5月中 |                     |
| 南伊豆    | 15      | 10    | 5      | 80    | 8    |          |                     |
| 富士     | 15      | 10    | 4      | 60    | 10   |          |                     |
| 伊良湖    | 16      | 5     | 2      | 30    | 12   |          |                     |
| 茶臼山高原  | 2.5     | 1.9   | 1      | 15    | 7    | 1月中～3月上  |                     |
| 能登千里浜  | 15      | 10    | 2      | 60    | 10   | 1月上～2月末  |                     |
| 越前三国   | 10.4    | 6.4   | 2.3    | 60    | 10   |          |                     |
| 近江八幡   | 15      | 7     | 2      | 90    | 7    |          |                     |
| 南淡路    | 14      | 8.5   | 1      | 40    | 10   |          |                     |
| 竹野海岸   | 15      | 10    | 5      | 80    | 11   |          |                     |
| 紀州加太   | 15      | 10    | 1.5    | 60    | 11   |          |                     |
| 南紀勝浦   | —       | 7     | 9      | 180   | 5    |          |                     |
| 大山鏡ヶ成  | 14.5    | 10    | 1      | 30    | 7    | 12月下～3月下 |                     |
| 蒜山高原   | 15      | 10    | 4      | 90    | 7    | 12月末～4月中 |                     |
| 大久野島   | 16      | 11    | 3.4    | 50    | 10   |          |                     |
| 吾妻山    | 15      | 10    | 2      | 60    | 10   | 12月中～3月中 |                     |
| 帝釈峽    | 15      | 10    | 3      | 50    | 7    |          |                     |
| 讃岐五色台  | 20      | 15    | 2      | 60    | 10   |          |                     |
| 瀬戸内東予  | 14      | 11    | 2.5    | 90    | 8    |          | 桜井海岸コース<br>歴史ロマンコース |
|        | 14      | 11    |        |       |      |          |                     |
| 志賀島    | 15      | 10    | 1.7    | 40    | 10   |          |                     |
| 雲仙     | 15      | 10    | 1.5    | 40    | 8    |          |                     |
| 南阿蘇    | 15      | 10    | 2      | 60    | 10   |          |                     |
| 指宿     | 16.1    | 12.1  | 3      | 40    | 10   |          |                     |

の多い自然学習型の活動はほとんど見当たらない。

④ 最近、休暇村周辺の地域の自然、文化、歴史、行事などを探訪するウォーキングコース「ふれあいのみち」(表-3)が設けられた。コースは14.5kmと10kmの2コースがあり、コースを利用して地域の自然や文化を楽しむ利用者が増加する傾向にある。

## 5. まとめと展望

36カ所の全休暇村及び個別休暇村を対象にした立地、施設、利用等に関する研究で得られた結果を以下にまとめる。

① 休暇村は、第1期から第3期にわたって計画的に整備されてきたことが確認された。第1期は、1960年代のはじめ、まず10カ所が指定され、その後順次追加指定が行なわれ、1960年代末までに20カ所の休暇村を開設した。第2期は1970年代で、北海道の支笏湖畔など12カ所が開設され、これによって沖縄を除く日本列島のほぼ全域に32カ所の休暇村が立地した。第3期は、公共事業費の伸び悩み、厳しい休暇村経営状況から適地は慎重に選ばれ、1981年から2000年までの20年間に4カ所の開設に止まった。

② 休暇村の立地環境の特徴は、日光湯元等数カ所の休暇村を除いて、ほとんど既存の宿泊施設群から離れ、独立し、しかも、自然景観資源に過度に接近して立地していることを確認した。その要因は、当初、計画用地は厚生省所管地等の国有地を対象としていたが適地は少なく、地方公共団体の土地提供を受けざるを得なかったからである。その事情を休暇村の土地所有形態の分析によって明らかにした。

③ 休暇村の空間構造について全村を比較検討した結果、全休暇村には共通して宿舍と園地があり、この基盤となる施設に各休暇村固有のレクリエーション施設が加わって総合的な野外レクリエーション地が形成されていることを明らかにした。そして、宿舍と園地に、スキー場、キャンプ場、水泳場の組み合わせによって、4つの形態に分類することができた。

④ 休暇村大山鏡ヶ成における利用者の環境や景観の認識・評価に関するアンケート調査を行なった結果、利用者は、自然豊かな開放的で安心できる快適な空間に満足感をもっていることが明らかになった。また、印象の大きさを定量的に把握することができた。

⑤ 大山鏡ヶ成における自然とのふれあい活動は早

い時期から行なわれてきたことを明らかにした。しかし、自然探勝や体験活動が主で、自然学習など多様な活動が行なわれていないことも把握できた。また、活動の企画、実施頻度、支援体制などについて早急に整備する必要が認められた。

本研究では、休暇村の立地過程、野外レクリエーション空間構造、自然とのふれあい活動の実態を解析し、その特徴を把握することができたが、今後は、自然利用拠点としての休暇村本来の機能的役割のあり方と方向、多様なふれあい活動の手法開発、休暇村と周辺地域の自然景観、歴史文化、産業を一体的に利用するネットワーク構築方法などの研究が必要である。

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、前千葉大学教授油井正昭氏にご指導頂くとともに、現地調査に当たっては全休暇村の担当者の方々に協力を頂いた。また、休暇村大山鏡ヶ成の職員の方々に景観評価に関するアンケート調査にご協力頂いた。ここに記して謝意を表します。

補注1) 自然公園の施設用語で、公園利用者の散策、ピクニック、風景観賞等自然との積極的な触れあいを図るために設けられる施設(園路、芝生地等)で、一定の土地の広がりをもつものをいう。

補注2) 自然公園の施設用語で、公園利用者が自然の渚及び水面を利用して水泳を行なうために設けられる施設で脱衣、休憩等の施設を含む。

補注3) 自然とのふれあい活動とは、環境省が提唱する「自然とのふれあいの増進施策」における事業活動で、自然観察会、キャンプ、ハイキングのほか、動植物を手にとって観察し、五感を通じて理解する自然体験、そば打ちなどの生活体験、カヌー・パラグライダー等アウトドアスポーツ、ピオトープ造りなどが対象となっている。

補注4) 図-3は、資料「環境庁自然保護局計画課：自然・ふれあい新時代：第一法規：1990」をもとに「自然環境アセスメント研究会」が作成した図を参考にした。

補注5) 比高は、山頂と谷底との間、あるいは河岸段丘面と河床との高度差のように、近接した2地点間の

海拔高度差をいう。(地理学辞典、日本地誌研究所編、1989)

垂直視角及び水平視角は、視点からの対象の見えの大きさを表す指標で、垂直視角は仰角(対象物の上端と視点とを結ぶ線と水平線のなす角)と俯角(対象物の下端と視点とを結ぶ線と水平線のなす角)を加えた角度をいう。(自然環境アセスメント技術マニュアル、自然環境アセスメント研究会、1995)

補注6) 樋口忠彦の景観区分(近景:360m以内・中景3.3~4.4kmまで・遠景3.3~4.4km以上)を参照した。

補注7)「景観」を把握する方法は「眺望」と「囲繞」の二つの景観要素に区分して行なう。眺望景観は景観を視角を通じて認知される景観像として捉えるもので、囲繞景観は身のまわりの景観として認知される場とし

て捉える方法である。(自然風景地のための景観解析、観光16、塩田敏志他、1967)

#### 引用文献

- 1) 朝日新聞、昭和35年5月29日、東京版(19)、1960
- 2) 堀繁他、国民休暇村にみる自然公園集団施設地区の計画思想、造園雑誌53(5):181-186、1990
- 3) 加治隆、自然とのふれあいアメニティ空間の把握と評価・試論、アメニティ研究4:63-66、日本アメニティ研究所、2002
- 4) 油井正昭他、国民休暇村におけるインタープリテーション活動に関する研究、千葉大学園芸学部学術報告50:135-148、1996